



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY



第15回例会(11月6日)
令和2年11月13日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10
川徳デパート内
例 会 場 同上 TEL 019 (651) 1111(代)
例 会 日 毎週金曜日12時30分～
<https://www.morioka-rc.jp/>

会 長 米内 正
幹 事 大平 藤一
会 報 佐藤 仁志
クラブ事務局 TEL 019 (653) 5682
FAX 019 (653) 5622

RI会長テーマ Rotary Opens Opportunities:ロータリーは機会の扉を開く…ホルガー・クナーク
盛岡RC会長テーマ 奉仕の輪を拡げ困難を乗り越えよう 米内 正



ゲスト卓話

人はいるけれど無人駅

～ウルシがテーマの山田線上米内駅 これまでとこれから～

一般社団法人次世代漆協会 代表

細越 確太 様

●スピーカー紹介●

1963年生まれ、盛岡市上米内出身。
盛岡三高から中央大学に進学、東京で建築関係の出版社に勤務。2015年2月に上米内に帰郷。盛岡市内の建設会社勤務を経て、2018年10月に一般社団法人次世代漆協会を設立。昨年、地域活性化を目的とした無人駅の活用をクラウドファンディングで支援するJR東日本のプロジェクトに応募。クラウドファンディングで集めた資金で、2020年4月に上米内駅の改修が完成。築97年の木造平屋の駅舎内に、漆工房や漆器の展示スペースを設置し、漆器の展示販売もしている。

はじめに

ウルシといえば何を連想されるでしょうか。多くの人は漆器。そしてカブレる。

岩手にお住まいの方は浄法寺とおっしゃる方も多く、岩手県が品質の良い漆の日本一の産地であると認知しているように感じます。

上米内にある無人駅がウルシの施設になっているのを目の当たりにすると大変驚かれる方が多くいらっしゃいます。

今日はその上米内とウルシについてお話を進めてみたいと思います。

次世代漆協会は林業の会社です。山にウルシノキを植え、漆を供給する事業をおこなっています。

ファームtoテーブル、6次化という概念を取り入れ、新しいウルシの利用方法の開発、ウルシノキによる再造林で短期収益化をしてウルシの産業化に取り組んでいるところです。

上米内駅とのいきさつ

ウルシと上米内駅が出会ったのは、開駅から97年目、無人駅化して約2年でした。JR東日本「地域にチカラを！」に2019年1月に応募。そしてクラウドファンディングの準備を始めました。

ここだけの話、実は採択通知書のようなものはいただいております。

「ウルシで 上米内を 元気にする」というキャッチフレーズで、駅舎をウルシCAFÉとウルシ工房にリニューアルして人が立ち寄れる施設としました。

駅舎には常時人がいる状態となりましたが、私たちは駅員ではありません。なので「人のいる無人駅」という変わった表現を来客には、面白可笑しく説明しています。

上米内ってどんなところ？

改めて上米内を紹介します。上米内人口3878名 世帯数1423件。面積2528.5ha＝東京ドーム500個＝品川区。密度は1haに0.56人。

名所は枝垂れ桜の米内浄水場。盛岡市の生活水源米内川。宮沢賢治も愛した高洞山。県指定から

市指定に格下げになった天然記念物カツバタ群生地。地域全体が縄文遺跡出土地域。

著名人は、最後の海軍大臣米内光政公。関取の錦木などを輩出しています。

4/26のリニューアルオープンから約半年がたち、これまでの来駅舎数は約4000名、1日平均22名。1時間に2人の来客。

上米内人口3878名。人口比来客開店率103%。参考までに日本のインバウンドは28%。

高い回転率の来客といえるのではないかと心の中ではニヤニヤしています。

来駅者内訳は推測ですが、上米内地域 1 対 地域外 4。

同じく推測ですが来駅方法頻度順は 1位 車、2位 自転車、3位 バイク 4位 列車・徒歩・バス。

建物面積は74㎡。低気密低断熱の建屋にスタッフ5名内1名は塗師で運営しています。

オープンしてから活性を示すためにイベントを行うことを常時取り組んでいます。

ウルシ植樹、高洞山登山、浴衣来訪者に飲料サービス、上米内の縄文講演会をライブ配信を行いました。

また来駅した方が駅だけで上米内を去るのはつまらないと思い、周辺案内のため地図「上米内エリアマップ」を作製。

この地図は私たちのウルシと上米内駅の活動に賛同していただいた地域の事業者4社で作成しました。

デジタル活用はFacebook「上米内ウルシGO」では、前述のイベント案内の他、日常の情報発信を駅スタッフ全員で行っています。サイトの名前の由来は、オープンイベント時運行予定の臨時列車名前です。

あいにくコロナ禍の影響で列車が走ることはなく幻となってしまいました。

施設彩りはウルシに限ったものではありません。新幹線雑誌「トランヴェール」配布。JR時刻表の設置。上米内産野菜の産直販売。地元のおばちゃんが折った折り紙の配布と木製おもちゃな

どの設置。賛同者や連携がありそうな各種パンフレットの設置。地元写真家の山田線の列車写真の設置などを行っています。

来駅者の方々は、ほとんどの方が
 ・なぜ上米内でウルシなの？
 ・漆器をここで作っているのですか？
 という感想を持たれます。

疑問が切り口となり、会話が弾み、予定より長居をした方ばかりのようですが「ウルシがよく分かった」「また来るね」とおっしゃっていただけるのは嬉しい限りです。

カブレは恐いが、どれがウルシノキかわからないようです。

上米内駅の敷地には、偶然ウルシノキがありそれを案内してウルシノキを覚えてもらうようにもしています。

ウルシカブレの原因はウルシへの接触、蒸散状態空間への侵入によるものです。

発症の仕方は個人差があり民間療法にはサワガニをつぶして塗る、ドジョウをなすりつけるなどあるようですが、まずは病院に行って治療することを勧めます。

ウルシには仲間があります。マンゴー、カシューナッツ、ピスタチオはウルシ科に属するもののようなのです。

恐ろしいカブレ成分の正体は、ウルシオールという物質でこれが漆の正体でもあります。

医療関係者が病気にかかりにくいのは、その対処法を理解しているからです。

ウルシもしかり。樹木を見分けられる見識を持つこと。そして服装を整える。

またウルシオールは油分と親和性が有ります。露出しがちな皮膚へ油性クリームや塗布などを事前に行っておけば、石鹸とともに洗い流すことができます。

万が一ウルシが付着したならば、まずオイルで拭う。サラダオイル、山の林業家はチェーンソーのオイルを使うと良いです。

そしてカブレたなら医者へ行くこと。

これからの活動

植樹、漆の日11/13、大学共同研究発表、イルミネーション（予定）、一周年イベントの開催4/26～GWと予定しています。

最後になりますが次世代のウルシに向かいキーワード「温故知新」生活という視点からファッション、フード、メディカルでの展開も取り組んでいきたいところです。

本日は、ご清聴ありがとうございました。

例会報告

第15回例会
 令和2年11月6日(金)

12時30分 開会点鐘

- ・司会 米内正会長
- ・国歌 君が代
- ・ロータリーソング（奉仕の理想）
- ・ゲスト 細越確太様（一般社団法人次世代漆協会 代表）
 趙 玥棋さん（本年度米山記念奨学生）
- ・会長報告 米内正会長
- ・皆出席バッチ（9月）
 米内 正君（3年）
 熊谷隆司君（1年）
- ・入会祝 福田莊介・藤村文昭・佐々木憲明・佐々木和俊君

- ・誕生祝 藤村文昭・勝部民男・長野隆行・米内 正・熊谷隆司・工藤幸一・坂本広行・中村芳樹・千崎和夫君
- ・結婚祝 佐々木憲明・熊谷隆司・工藤幸一・佐藤義正・小川 惇・近藤 駿・近藤一英・杉山雅和君
- ・幹事報告 大平騰一幹事
- ・終了後定例理事会
- ・委員会報告

【ニコニコBOX】

- ◆川村登君…この度の、妻・敦子の葬儀に際し多くの皆様から丁寧な弔意を賜り誠に有難うございました。9月例会の卓話でちょっと敦子に触れさせて頂きましたが、こんなに早く別れが来るとは思いませんでした。本人も以前、盛岡RCとご縁を頂いたことに感謝していたと思います。

本当に有難うございました。

- ◆米内正君…「人はいるけれど無人駅～ウルシがテーマの山田線上米内駅これまでとこれから～」というテーマで、一般社団法人次世代漆協会代表理事の細越確太様に卓話を頂戴いたしました。木造平屋の駅舎を大規模改修し、漆工房や漆器の展示スペースを設置し、地域活性化のためにご活躍をしております。細越確太様と、紹介してくれましたJR東日本盛岡支社長・石田亨さんに感謝してニコニコします。

●メイクアップ

- クラブ委員会=赤沢・畠山・石田・樫野・工藤・熊谷(祐)・佐々木(和)・佐藤(仁)・佐藤(重)・諏訪・吉田(明)・和田君

出席報告

会員数/76名

出席数/46名

出席率/62.16%

前々回/80.00%

プログラムのお知らせ

- ・11月13日(金) 新入会員卓話 佐々木和俊会員
 「電材流通の責務に徹して おかげさまで75周年」
- 20日(金) 新入会員卓話 高橋一仁会員
- 27日(金) 新入会員卓話 和田俊文会員
- ・12月4日(金) 新入会員卓話 鈴木博高会員
- 11日(金) 年次総会
 会員卓話 畠山将樹・大泉勝嗣会員「ロータリーの友」熟読のス、メ

●本号編集担当/西館 政美